

ほたるのこおどり便

2017年度版
 編集：上越市立大島小学校
 5・6年生
 発行：2018年2月24日

「ほたるのこおどり」って何？

私たち大島区の子供たちが芸能にかかわる様々な方々と一緒に創り上げた「新しい郷土芸能」です。
 雪・ほたる・わき水など大島の宝物を紹介した歌と踊りです。

活動の目的★

大島に元気を届けたい！
 大島から元気を届けたい！

かさ

自分たちでかさにがざりつけをしました。
 羽をつけたり、鈴をつけたりしました。

バチ

カラーテープや鈴をつけました。
 手元をはなやかにするために作りました。

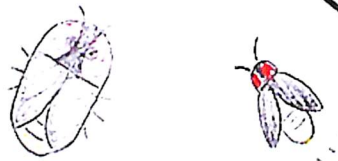
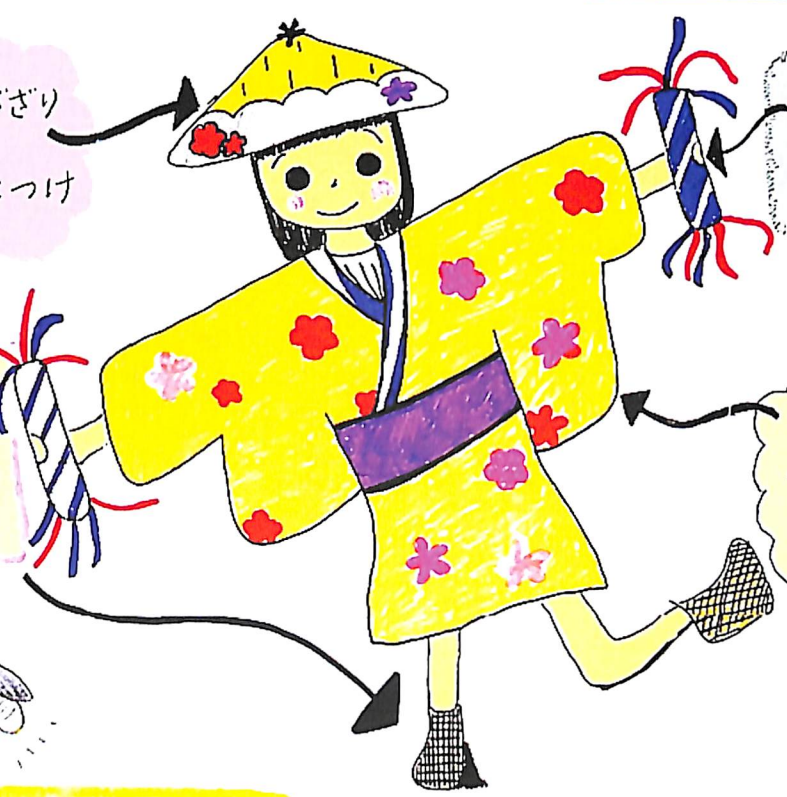
※和おどりでバチを使いません。

ワラバキ

旭の内山善平さんから作っていただいたものです。昔のワラぐつっの感じを出すようにしました。

着物

古い着物をリメイクして衣装にしました。
 とても、はなやかです。



《ほたるのこおどりが生まれるまで》

2015年大島に元気を届けよう！と始める。

小島千絵子さん(鼓童名誉団員)、武田朋子さん(篠笛奏者)太鼓グループの海音鼓のみなさんに協力して頂き、踊りや楽器演奏を教わりながら一緒に作りあげる。

2016年XTの回廊で
 舞台おどり初披露



お年寄り「おしらも踊りたいが難しい…」

みんなが踊れる(和おどり)をつくろう！

飯田邸でのイベントで

初めて
 お客さんと
 おどる。



そして 3年目...

和おどりを広めようと様々なところで交流してきました。

【大島小学校運動会】全校と保護者のみなさん100人以上でおどりました。



【大島区さわやかサロン】お年寄りの方と踊りを通じた交流をしました。

【仁上ほたる祭りでのコンサート】出演者の上教大吹奏楽部の皆さん、会場のみなさん全員でおどりました。



お知らせ

You Tubeでも「和おどり」の解説ビデオを配信しています。

・2018年6月10日(日) いきいき春日野ふれあいコンサート出演
 (会場：春日謙信交流館)



《和おどり踊り方解説 | 踊り手 小島千絵子さん》

ほたるのうた

1 番 冬と夏の情景

冬

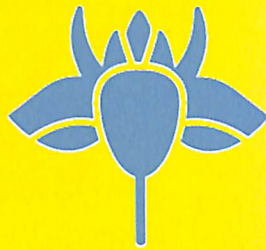
両手にストック、足にはかんじきをはいて雪を踏みしめて進むイメージ。

夏

ほたるを追いかける子供たちの軽やかなステップと、蛍を大切にする大島の人々の心をイメージ。



1~4を2回繰返し



2 番 春と秋の情景

春

春は田植え。雪解け水でおいしいお米がとれるようにていねいに苗を植えていきます。

秋

収穫の秋。台風が来て吹き飛ばされそうになるカシ、稲わらをせっせと束ねる男たち。大地の恵みに感謝します。

ここから後半

ポイント
前半は女性と
男性で踊りが
違います



1~4を2回繰返し

男おどりも2回繰返し



チヨチヨンがチヨン